

新潟青陵学会
第10回学術集会

ウェルビーイングを 支えるもの再考

2017 11.3.(金・祝)

■会 場 新潟青陵大学

■主 催 新潟青陵学会

第10回 学術集会長／本間 恵美子

新潟青陵大学大学院臨床心理学研究科 教授

メイン・テーマ

ウェルビーイングを支えるもの再考

ウェルビーイングは、WHO憲章（1949）以来、人の健康にとって重要であるとされてきました。この憲章では、健康はたんに病気がないということではなく、幸福感や満足感のある状態（ウェルビーイング）であるとされていますが、これまでは病理的な側面に焦点があてた考え方を背景とした実践や研究が多く行われてきました。

近年、人々のウェルビーイングにかかわる領域では、人間がもつ強み（ストレングス）などのポジティブな側面に直接焦点をあてるアプローチも、特に実践において重視されるようになってきました。一方、このような方向での研究はまだ少ないようですが、確実に増加しつつあるといえます。今回は、このように変化しつつある状況をふまえて、ウェルビーイングを支えるものについて再考するきっかけとしたいと思い、企画いたしました。

スケジュール

9:30～10:10	●受付	4号館玄関
10:00～10:10	●開会の挨拶 学 会 長：諫山 正（新潟青陵大学 学長） 学術集会長：本間 恵美子（新潟青陵大学大学院臨床心理学研究科 教授）	5号館 5301 講義室
10:10～12:00	●基調講演 「ポジティブなこころの科学 －ポジティブ心理学の展開－」 講 師：堀毛 一也（東洋大学 教授）	5号館 5301 講義室
12:00～12:25	●総 会 学会員の方のみとなります。非学会員の方はご遠慮ください。	5号館 5301 講義室
13:00～14:00	●ポスターセッション コアタイム 発表者がポスター前で待機しています。 ポスターは10:30～15:00まで自由にご覧ください。	新1号館 1204・1205・1206 講義室
14:10～15:55	●シンポジウム 「ポジティブな生を支える －ストレングス、QOLの視点から－」 シンポジスト：若杉 トヨ子 氏（すなやま訪問看護ステーション） 倉島 繁 氏（NPO法人放課後等デイサービスてるいんとか） 猪俣 萌子 氏（新潟薬科大学） 座 長：坪川 トモ子（新潟青陵大学看護学部 教授）	5号館 5301 講義室
16:00	●閉会の挨拶	

プログラム

1. 基 調 講 演

テ ー マ

「ポジティブなこころの科学
－ポジティブ心理学の展開－」

講 師：堀毛 一也（東洋大学 教授）

東北大学文学研究科博士課程後期中退後、岩手大学などを経て現職
学習院大学・昭和女子大学・東京大学・立正大学非常勤講師（現在）
日本グループ・ダイナミックス学会会長、日本パーソナリティ心理学会副理事長等を歴任

著書：心理学の基礎7：社会心理学（共著：2017）
新・社会心理学：心と社会をつなぐ知の統合（分担執筆：2014）
パーソナリティ心理学ハンドブック（共編著：2013）
ポジティブ心理学の展開：「強み」とは何か、それをどう伸ばせるか（編著：2010）
パーソナリティ心理学：人間科学・自然科学・社会科学からのアプローチ（共著：2009）

2. シンポジウム

テ ー マ

「ポジティブな生を支える
－ストレングス、QOLの視点から－」

〈趣 旨〉

人間がウェルビーイング（幸福感や満足感のある状態）を感じ、その人らしく、ポジティブに生きるにはどのようなことが必要でしょうか。そのようなことを研究している学問の1つに、ポジティブ心理学があります。

ここで言う「ポジティブ」とは、世間一般の人がイメージする「ポジティブ思考」とは異なり、人々が生きがいや幸せ、満足感を感じ、生きていくにはどうしたらよいか、これらの実現に関して実践および実証していくことが主要なテーマとなります。

本シンポジウムでは、ウェルビーイングを高め、ポジティブな生を対象者が生きるには支援者としてどのような支援ができるかについて、「ストレングス（人が、元来持っている「強さ・力」に着目して、それを引き出し活用していく）」、「QOL（人がどれだけ人間らしい生活や自分らしい生活を送り、人生に幸福を見出しているか）」をキーワードに、看護、福祉、心理の分野からそれぞれの実践についてお話していただきます。

対象者が生きがいや幸せを感じ、生きていくことを支援するために私たちができることは何か、シンポジスト及び参加者の皆様と議論を深めたいと思います。

●シンポジスト

若杉 トヨ子 氏
（すなやま訪問看護ステーション）

病気や障がいがあっても住み慣れた自宅で自分らしく暮らせるように、幅広い年代の在宅療養者や家族の支援を行っておられます。在宅療養者や家族の強みを活かした支援の実践についてお話をさせていただきます。

倉島 繁 氏
（NPO法人放課後等デイサービスてるいんとか）

地域に障がい児の施設が少ないことから、発達支援の施設を立ち上げられました。施設の理念は、「生活における困難を早期に発見し、適切な療育をすること」とされています。現在は、小学校1年生から高校3年生までの障がいのある児童を対象として、個別対応による発達支援を展開されておられます。

猪俣 萌子 氏
（新潟薬科大学）

「臨床心理士」として大学の学生相談の分野で精力的に活動されています。現代の青年期の問題に対して心理学の立場から援助を試みておられます。新潟青陵大学大学院修了。

●座 長 坪川 トモ子（新潟青陵大学看護学部 教授）

ポスターセッションの申し込み・抄録作成・発表

1 申し込み

1) 方 法

発表をご希望の方は、下記①②③を新潟青陵学会ホームページからダウンロードしてください。
必要事項を記入後、添付ファイルにて電子メールで学術集会事務局までお送りください。

学術集会事務局：2017conf@n-seiryu.ac.jp

- ①ポスターセッション発表申込書
- ②抄録原稿書式
- ③抄録原稿作成チェックリスト

2) 申込書・抄録原稿・チェックリストの提出期限

2017年8月21日(月)《必着》

2 抄録原稿の作成・提出

- 本文の記載は、原則として、Ⅰ目的、Ⅱ方法、Ⅲ結果、Ⅳ考察、Ⅴ結論、引用文献とします。
なお、個人情報保護等の倫理的配慮を必ず記載してください。
- 文字の大きさや書体等の組み方は抄録原稿書式をご参照ください。
- 抄録原稿はWord(ver.2000以降)で作成してください。

3 発表者の資格・選考

1) 資 格

- 共同研究の場合は、会員が必ず1名以上含まれることを要件とします。
- 単独での発表を希望される非会員の方は、事前にご入会いただく必要があります。新潟青陵学会ホームページから入会申込書をダウンロードして必要事項をご記入のうえ、電子メールでお送りください。1週間以内に受領メールが届かない場合は、ご連絡ください。

2) 選 考

- ポスターセッション発表申込の受理は前記の申込書類の受領をもって行い、採否は9月上旬までに郵送にて連絡します。
- 採択された抄録原稿は、新潟青陵学会第10回学術集会抄録集に掲載されます。

4 個人情報の利用

- ポスターセッション発表申込書に記入された氏名・所属は、新潟青陵学会抄録集に掲載されます。ご了承ください。

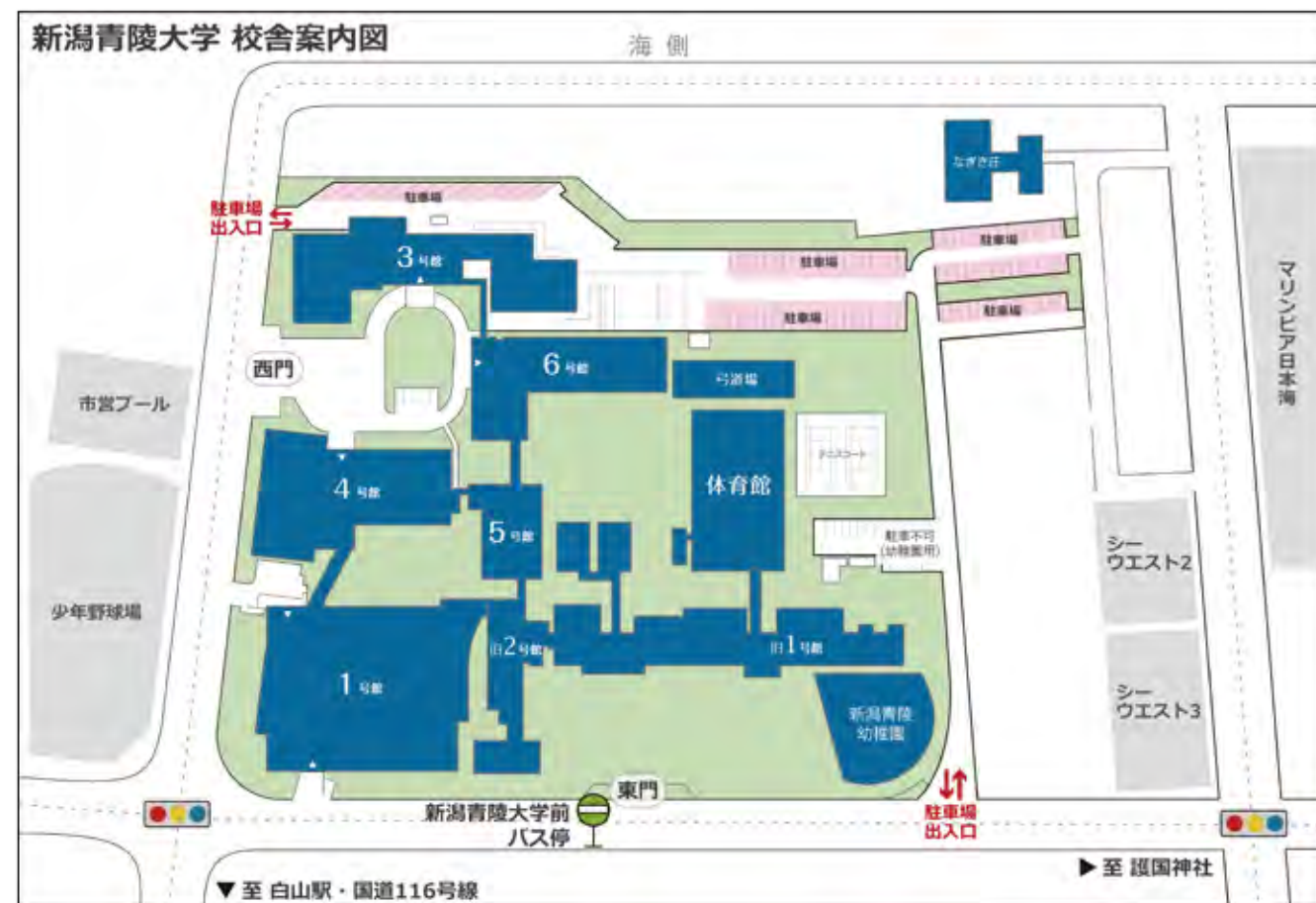
5 ポスターの掲示

- 発表者は学術集会当日9:30～10:10の間に受付までお越しください。
- ポスター掲示スペースは題名を含めて1演題180(縦)×90(横)cmです。
ポスターは当日持参し、10:30までに掲示を完了してください。
- ポスターを掲示するためのボード、テープ類は、学術集会事務局で準備します。
- ポスターは、15:00～16:15までの間に撤去してください。16:15以降は学術集会事務局がポスターの撤去を行います。
撤去したポスターを、16:30までに受け取りにきてください。
16:30までに受け取りに来られない場合は処分いたしますので予めご了承ください。

6 コアタイム

- ポスターセッションのコアタイムは13:00～14:00です。
- 上記時間内は、発表者のうち最低1名がポスター前に待機し、参観者の質疑応答に備えてください。

会 場 案 内



- 大学生協売店が10:00～16:00まで営業します。また、4号館玄関にてワークショップロード、焙煎コーヒー温、ワークセンター日和山、あどばんすの出店も予定しております。どうぞご利用ください。
- 会場の駐車場は数に限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- 会場周辺には公共施設等の駐車場がございますが、本来の利用者の方の妨げになりますので本学術集会にご参加の方のご利用は固くご遠慮ください。

参 加 申 込 ・ 参 加 費

- 事前申し込みは不要です。当日、直接受付においでください。

● 参 加 費

学 会 員 ・ 本 学 学 生 ・ 院 生	非 学 会 員	
無 料	一 般 1,000円	学 生 ・ 院 生 500円

※非学会員の方は当日受付にて参加費をお支払いください。
注) 本学卒業生は別途入会者を除き、非学会員です。

memo

[illegible]

交通アクセス



詳細地図



■JRをご利用の方 JR越後線(白山駅)下車、徒歩15分

■バスをご利用の方 新潟駅前万代口バスターミナル(のりば: 7)から
 C20(浜浦町線 西部営業所ゆき) バス停 松波町1丁目下車 徒歩4分
 C21(浜浦町線 信濃町ゆき) バス停 松波町1丁目下車 徒歩4分
 C22(浜浦町線 水族館前ゆき) バス停 新潟青陵大学前下車 徒歩1分

お問い合わせ先

新潟青陵学会第10回学術集会事務局

〒951-8121 新潟市中央区水道町1丁目5939番地
 TEL: 025-266-0127(代表) FAX: 025-267-0053
 E-mail: 2017conf@n-seiryō.ac.jp
 ホームページ: <http://www.n-seiryō.ac.jp/gakkai/>
 電話受付時間: 8:30~17:00(土日祝日・休業日は除く)